

教育目標「豊かな心の生徒」

深く考え、自ら学ぶ生徒

<目ざす生徒像>

思いやりの心を持ち、助け合う生徒

気力をもって、やりとげる生徒

<学校経営方針>

- ・「学ぶ楽しさ」を実感させ自己表現力を基盤にした確かな学力を育成
- ・一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさとめくもりのある居心地のよい集団づくり
- ・地域・保護者が通わせたいと思える信頼される学校づくり
- ・チームとしての組織力を強化と教育公務員としての倫理観とタイムマネジメント意識を高める

学習指導

～基礎学力を基盤とした、自己表現力の育成～

- ① 学習規律・学習習慣の定着
 - ・授業始めと終わりの挨拶、聞き取りやすい声での返事・発言
 - ・課題は期限までに提出できるように、必要な個別支援を実施
- ② 基礎学力の定着
 - ・タブレットを使用した個別学習の推進
 - ・基礎学力コンクールの実施
- ③ 自分の考えや思いを表現する力（プレゼン力）の育成
 - ・生徒が「伝えたい」と思う問題解決的な授業の実践
 - ・学習形態の工夫（ペア学習・グループ学習・発表方法）
 - ・「五並トーク」や道徳の授業での意見の発表の仕方や聞き方（リアクション、うなずき、笑顔）の習得

総合的な学習の時間（輝）

～児童（生徒）運転で進む総合的な学習の時間～

- ・振り返りを手がかりにして生徒の願いや問題意識に沿う単元を展開する。
- ・課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現といった探究過程が繰り返される単元を展開する。
- ・学びの足跡がわかるような学級掲示を作成する。
- ・校外の人との関わり、思いにふれる。
- ・SDGsを取り入れたり、思考ツールやICT機器を活用したりする。
- ・12月に全体発表の場を設け、表現力や発信力を養う。
- ・カリキュラムマネジメントによる教科横断的な学習を行う。

《 合言葉「い・な・み」の実践 》

「い」 いつもにこにこ 明るいいいさつ
 「な」 何でも挑戦 チャレンジ精神
 「み」 みんなで力を合わせ きれいな学校

本年度の各分野の重点努力目標

生徒指導

- ① 思いやりのある温かい人間関係の築ける生徒の育成
 - ・SGEやSSTの計画的実施
 - ・「誕生日カレンダー」「ありがとうカード」「よいところ探し」など自己肯定感を高める活動の実施
- ② 自ら判断し合言葉「い・な・み」を意識した生活ができる生徒の育成
 - ・「五並日常カップ」の見直し(生徒による新しい五並カップ)

生活サポート

- ・日々の指導記録
- ・不適応者の早期発見
- ・担任を中心としたチーム支援
- ・生徒の多面的理解
- ・SCとの連携

道徳指導

- ① 子どもたちが「自ら考えたくなる・実践したくなる」道徳授業
 - ・本質的な学びを促すために「導入・発問・振り返り」を事前に検討する
 - ・授業形態（ペアや小集団による話し合い活動）や教具（ホワイトボードや付箋の活用）などを工夫する。
- ② 振り返りの手がかりとなる板書計画の研究
 - ・相互授業参観日を設け、生徒の思考を深める板書の研究協議を行う

●清掃指導 ～無言清掃の励行 みんなで力を合わせ、きれいな学校～
 ・自分の手で気持ちのよい環境をつくり出し、維持しようとする
 ・集団の一員として役割や行動を自覚し、適切に行動する

●給食指導
 ・日常生活における食事についての正しい理解を深める
 ・健全な食生活を営む判断力と望ましい食習慣を養う

●図書館・読書指導「つなぐ、ひろがる図書館」
 ・読書活動の推進、学習活動の支援

●進路指導
 ・3年間を見通した全体計画のもと、各学年の目標を明確化
 ・高校卒業後の見通しを立てた進路指導、望ましい職業観と生きる目標の確立

●特別支援教育
 ・就労と生活の自立ができる人間の育成

特別活動

- ① 褒め上手でアドバイス上手なリーダーの育成
 - ② 物怖じせずに挑戦したり、困難を乗り越えようとして、気力をもってやり遂げる生徒の育成
 - ③ 仲間とともに活動する喜びや感動を味わえる生徒の育成
- ・教員としては、日頃から重点課題を意識した価値づけと決めたことは本気で守らせることの共通理解
 - ・さまざまな交流の機会の確保
 - ・月1度の学級会の継続実施 ・朝の会での「歌」時間の設定
 - ・現状の問題点を改善するため、委員会活動の活性化
 - ・縦割り班活動の活性化と実行委員制度による縦のつながりの強化

現職研修

主体的・対話的な深い学びをする生徒の育成

～高め合い、支え合う生徒集団づくりを通して～

- ① 学ぶ楽しさの実感と自己表現力の育成のために
 - ・自己決定の場の設定と振り返りをつなぐ問題解決的な単元構想・タブレットの活用
 - ・授業研究会（英語：清木利香 教諭） ・授業の相互参観
- ② 安全で安心な元気な学校づくりのために
 - ・学校危機管理、不祥事防止：教頭
 - ・心肺蘇生、食物アレルギー：養護教諭
 - ・ネットモラル：生徒指導主事 ・防犯防災：校務主任
- ③ 今日的課題に対応するために
 - ・SGE、SST：生徒指導主事 ・特別支援教育：特支学級担任
 - ・評価、評定：教務主任
 - ・特別支援を要する生徒の進路：講師 柳澤教諭（芦原小）

部活動 ～人をつくる～

- ・自己の個性や能力を発見し、その伸長を図る
- ・礼節・協調性を伸ばし豊かな人間性を育てる
- ・健康な身体と心を養う
- ・ルールを厳守する態度を養うことにより社会性の涵養を図る。
- ・チームとしての所属感や連帯感を身につけ、愛校心を育てる

家庭・地域との連携

- ・保護者、校区自治会、学校評議員、校区健全育成会との情報の共有化
- ・登下校巡視・見守りの依頼
- ・校外教育活動の協力依頼

校区の小学校との連携

- ・学校間の情報の共有
- ・小学校6年生の体育祭参加
- ・小中音楽交流会の実施

保護者の願い

- ・主体的な学習、学力の向上
- ・規律ある学校生活
- ・登下校・学校生活の安心安全

開かれた学校づくり

- ・積極的な情報発信（五並中だより、学年だより、ホームページ等）
- ・授業・行事の公開、参加
- ・安心安全な環境ときれいな環境づくり

Inami J. H. School

